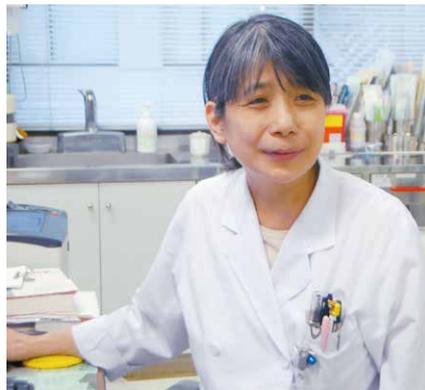


健康通信

市民病院より

問合先 市民病院 (☎76・4131)



▲皮膚科部長 平 真理子

蕁麻疹じんましん

蕁麻疹とは

蕁麻疹はありふれた疾患であり、経験された方も多いと思います。

蚊に刺された様な皮膚の赤みと膨らみが生じ、とてもかゆい疾患です。皮膚にはマスト細胞と呼ばれる細胞が多数あり、その中にはヒスタミンを代表とする蕁麻疹のもととなる物質が含まれています。なんらかの原因でこれらの物質が細胞より放出されると、蕁麻疹が発症します。放出された物質はあるいは神経を刺激してかゆみを、あるいは血管を刺激して赤みと膨らみを生じます。これらの症状は皮膚におけるアレルギー反応の一つです。アレルギーが

急激に強く起こることを、アナフィラキシーといいます。アナフィラキシーの定義は「生命に危険を及ぼすような、重篤で広汎な全身性アレルギー反応」とされています。皮膚粘膜症状、呼吸困難、血圧低下、腹痛、嘔気など全身の症状が、原因物質と接触後数分から数時間で出現します。

蕁麻疹は特定の刺激によって起こる蕁麻疹と、原因がはっきりしない特発性蕁麻疹に分類されます。

特定刺激によって起こる蕁麻疹

特定の刺激で代表的なものは、食物・薬剤の摂取、昆虫刺傷、動物との接触などがあります。乳幼児期に発症した鶏卵、小麦、牛乳などの食物による蕁麻疹は成長にしたがって軽快することが多いですが、成人して発症したソバ、ピーナッツ、エビ、カニなどに対する反応はなかなか消えません。

また最近ラテックス（天然ゴムの成分）に対するアレルギーが注目されていますが、ゴム製品に触れることのみでなく、桃、栗、バナナなどを食べた時にも蕁麻疹を起こすことがあります。

先年問題になった小麦加水分解物

の入った石鹸によるアレルギーでは、グルパール19Sという物質が原因と確認されております。皮膚に接触した物質ですが、小麦の摂取で重篤なアレルギー症状を起こす方もいました。

別に食物依存性運動誘発アナフィラキシーという症状もあります。とくに小麦摂取後に起こすことが多く、運動することによってアナフィラキシーを生じる状態です。

特発性蕁麻疹

特発性蕁麻疹は原因がはっきりしませんが、疲労、ストレス、感染症、食物成分（ヒスタミン、サリチル酸、防腐剤、人口色素など）が増悪因子となっていることがあります。1カ月以上続く場合は慢性蕁麻疹と呼びますが、そのなかには、自分でマスト細胞を活性化する自己抗体を持つ場合があります。

治療

治療はもちろん原因物質が判れば避けるのが第一ですが、ある程度の期間抗アレルギー剤の内服を継続する必要があります。

アナフィラキシーに対しては、自己注射できる携帯用の薬品があります。

お知らせ

助産師・看護師募集



■嘱託職員

勤務 月々金曜日午前8時30分～午後5時

対象 助産師、看護師免許取得者
月給 27万円（一時金なし）

■臨時職員

勤務 月々金曜日午前8時30分～午後4時30分（時間は応相談）

対象 助産師、看護師免許取得者
時給 1,500円（一時金なし）

人員 各3人程度

勤務開始日 2月3日(月)

申込み 1月6日(月)（必着）までに、臨時・嘱託いずれかを記入した履歴書（写真貼付）、資格免許証の写しを郵送または直接病院

総務課（〒485-8520住所 不要）

※後日面接あり